

参議院自由民主党政策審議会長

参議院議員・薬剤師

藤井 基之

### ブースター接種の推進

新型コロナウイルス感染症は、欧米諸国等と同様に新たな変異株であるオミクロン株の感染により、1月12日に1万人を超えた1日の新規感染者数は、22日には5万人を、そして2月5日には10万人を超える等、これまでにない驚異的なスピードで拡大が続いています。オミクロン株はデルタ株等と比べて潜伏期間が短く、世代時間（ある人が感染してから他に人に感染させるまでの期間）も2日程と短く、このことが急拡大の要因となっていると考えられます。

他方、オミクロン株では鼻や喉といった上気道の炎症を引き起こしやすいものの、肺まで達して重症化するリスクは、他の変異株に比べて低いことも明らかとなっています。しかしながら、感染者の絶対数が増加することによって、重症患者数も増加しており、早急な対応が求められています。

政府はその対策の一つとして、コロナワクチンの3回目ブースター接種の前倒実施を進めていますが、接種予約が思うように埋まらない現状にあります。接種が進まない理由としては、国民にブースター接種の重要性やファイザー社製ワクチンとモデルナ社製ワクチンの交差接種の安全性等の理解が浸透していないことが考えられます。

こうした現状を踏まえ、自民党政務調査会の新型コロナウイルス対策ワクチンPTは、医療体制を少しでも守るため、ブースター接種の推進等に関する第7次の緊急提言を取りまとめ、政府に提出しました。提言では、今回の感染のピークアウト後には SARS-CoV-2 ウイルスに対する人口レベルでの免疫は一定程度維持され、今後の感染では重症化しにくくなることが期待されるとも記しています。今後如何なる変異株が出現するか分かりませんが、これを最後に8次提言が出ないことを祈りたいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>